

国際サーカス村通信	VOL15NO07	2011年5月24日(火)
		文責 西田 敬一
編集 NPO 法人国際サーカス村協会	〒376-0303 群馬県みどり市東町座間 41-1	
Tel0277-70-5010 Fax0277-97-3688 mura@circus-mura.net http://www.circus-mura.net		

● 沢入国際サーカス学校 ナージャ先生のワークショップ

スポーツアクロ元世界チャンピオンのナージャ先生に、アクロバットの基礎をしっかりと教えてもらいます。全く経験のない方から、体操経験者、パフォーマーの方など、去年は12名の方にご参加いただきました。今年は下記日程で行います。



■日程 2011年6月27日(月) 13:00～7月1日(金) 17:00

■場所 沢入国際サーカス学校 体育館

〒376-0301 群馬県みどり市東町沢入 491 旧沢入小学校体育館

■参加費 2万円(食費[朝・晩]・宿泊費・保険代込)

参加を希望される方は、NPO 法人国際サーカス村協会東京事務局

[電話: 03-3403-0561、またはメール info@accircus.com]

までご連絡ください。



また、今期の発表会は 7月22日(金) と 23日(土) を予定しております。

● 神宮前小学校国際交流学級公演

今年のゴールデンウィークの始まりだった4月29日(金・祝)午前5時、サーカス学校のある山のふもとから、舞台道具を積んだトラックと3台の車が、東京・表参道を目指して出発しました。

この日の公演会場は、神宮前小学校国際交流学級(Jingumae International Exchange School)、通称JIES。国内外の有名ブランド店が並ぶショッピング街のど真ん中に位置する学校です。在日トルコ人が自分たちの子どもの教育の場をつくるため、神宮前小学校の校舎の

一部を借りてトルコ人学級として開いたのが始まりで、今ではトルコ国籍以外の子どもも受け入れており、10カ国ほどの子どもたちが通っているとのこと。会話は英語で行われていました。

4月23日はトルコの「子どもの日」。正確には「国民主権と子どもの祭日」だそうで、トルコの独立解放戦争のさなか、1920年4月23日に第1回トルコ大国民議会が開催されたことを記念した日だそうです。トルコではこの日、国旗を掲げ、国歌を斉唱し、子どもに関連した行事が行われるそうで、JIESでも毎年子どものためのイベントを行っており、今年は沢入国際サーカス学校にお声がかかったということなのです。

3月11日の震災後、予定していたイベントが次々とキャンセルになっていきました。「子どもの日のイベントは予定通り行いますか」とお尋ねすると、JIESの校長先生と担当の先生はこうおっしゃいました。「授業は再開しているが東京に戻って来られない生徒も多く、全員が集まっていない。さようならも言えずに母国に帰国してしまった子もいて、震災後の生徒たちは元気がない様子だ。だからぜひともサーカスの力で、子どもたちを元気にしてほしい。イベントは予定通り開催します」こちらも気合が入りました。

搬入、仕込みは順調に終了し、午前11時ショー開始。今回のショーは研究生と生徒合わせて8名が出演。札幌の専門学校で舞台演出を専攻し、今年の3月にサーカス学校に戻ってきた卒業生の高村篤が中心となって演出しました。飯田有美子の空中リングのパフォーマンスに、先月ソルソラさんにいただいたトラスを早速使わせていただきました。

お客さんは、JIESの子どもたち、神宮前小学校の子どもたち、そして保護者や先生方など約150名。田中健太のローラーバランスの演技で、最後、5つのローラーに挑戦するときには、子どもたちから”Do it! Do it!”という掛け声が響きました。



↑トラスで空中リングを演じる飯田有美子

ショー後はディアボロとボールジャグリングのワークショップ。子どもたちがわぁっと寄ってきて道具を受け取ると、見よう見まねで操ろうとしていました。ここでは石川健三郎さんからいただいた道具が大活躍。英語で会話する子どもたちに、サーカス学校の生徒たちも一生懸命英語で答えていました。

公演、ワークショップとも無事終了。お客さんからたくさん拍手と歓声をいただきました。翌日、JIESの担当の先生から次のようなメールをいただきました。

『子どもたちのみならず、保護者からも大変反響をいただき、お陰様でイベントを盛り上げ成功させることができました。ワークショップでも、子どもたちが楽しそうにジャグリングに挑戦していました』

→高村篤のパフォーマンス。額でバランスを取った長い棒の先にあるカップに次々とボールを入れていく

一方、イベント中に震災の影響が伺えた出来事がありました。以下、西田校長の、今回の公演に関するブログ記事より一部抜粋します。

(長屋歩未)

公演は無事終了し、観客の子ども、親たち、そしてトルコ人の校長先生にも喜んでいただいたのだが、準備中、先生から「照明は使わず外光で公演してもらえないか」という話ができてびっくり。この節電の話は、なんでも、渋谷区のほうからの要請で、学校が休みの日の体育館利用なので、電気利用は認められないという。校長先生が「サーカスなので暗くなると危ない」と説得してくれ、電気の利用が可能になった。で、公演が終わってもだれも消灯しない。仕方なく、先生らしき人にその旨伝えたが、その女性は、消灯しないし、それを誰かに伝えようもしない。なんともいい加減な人と思ったが、それを責めるのもあほらしく、僕が自分で消灯した。

震災以降、“がんばろう、日本”始め、やたらと“絆”という言葉が強調され、震災、津波、原発事故を利用した、官やマスコミの言論統制的な、言葉の使い方が気になる。特に原発事故は、今回のような事故は起こらないという企業、そして国の誤った認識が基になっている。確かに震災からは立ち直らなければならない。しかし、人間のみならずあらゆる動植物に甚大な被害を、そして死をもたらす原発事故の責任を、今こそしっかり追及しなければならないのだ。

(ブログ「国際サーカス村・村長日誌」2011年5月2日の記事『インターナショナルスクール公演』より)

●平田オリザ氏に問う

米国の要請で原発の放射能汚染水を垂れ流したとソウルで発言し、その後、「不用意に誤った発言をして申し訳ない」と官房長官に謝罪したという、内閣官房参与の平田オリザ氏。機密情報かもしれない情報を意図的にしゃべったのであれば、それはむしろ褒められる。だが、そうではあるまい。原発事故の被害を矮小化する政府の方針にのっとって、つい、口が滑ったのであろう。

官房長官への謝罪などはどうでもいい。それよりも、なぜ、そんな発言が口を突いて出たか。それは、彼のいかなる知性がなせる業かそれを明らかにしてもらいたいものである。文化予算を国が都合よくばら撒くための劇場法を画策している彼は、すでに文化官僚の一員であって、芸術、文化を志すひとりひとりの人々を思考する知性などは、かけらもないかもしれないが。それにしても、なぜそのような発言をしたのか、演劇関係の協会などが問いたださないのはなぜか。

平田オリザ氏を批判すれば、自分たちの活動にとって不利になると思っているのか。それは余りにも情けない。



この平田氏の発言がいかなる意図の下になされたか。その情報を彼がどこから入手したのか。彼が、文化・芸術を語るのであれば、まず、国民に申し開きしなければならないことは山のようにあるだろう。

5月23日、文部科学省で福島の人々が中心になって開いた抗議集会に参加し、抗議の内容のひとつである、20ミリシーベルト撤回要求に、のらりくらりと、回答にならない回答を繰り返す役人の言葉を聴きながら、平田オリザも役人と同じアナの貉に成り下がったかと痛感した。

(西田敬一)

最新サーカス公演情報

★木下大サーカス

●広島公演 2011年4月29日(金・祝)～2011年7月19日(火)

●休演日;毎週木曜日と6/15(水)。但し5/5(木)は開演。

●会場;広島市西区商工センター特設会場 ●電話; 広島公演事務局 082-279-0270

★ポップサーカス

●松江公演 2011年7月2日(土)～8月28日(日)

休演日;毎週木曜日。7/2(土)は13:00/19:00の2回公演。7/30(土)の19:00公演は貸し切りのため一般入場できません。 ●会場;松江北公園特設大テント会場(にびきメッセ北側)にて

●松江公演事務局 0852-25-3455

★ワンダー空中サーカス

野外民族博物館リトルワールドにて、ロシア、ウクライナ、ベラルーシから来日したアーティストによる空中サーカス公演中！息をのむスリルと目をみはる美しさがあなたを愉快で幻想的な世界と誘います。空中技の競演が彩る至極のエンターテイメントをぜひお楽しみください。

※入館料のみでご覧いただけます。●2011年3月19日(土)～2011年6月26日(日)

●休演日;毎週火曜日 ●電話; リトルワールド 0568-62-5611

●会場;野外民族博物館リトルワールド(愛知県犬山市)野外ホール

★かえてきた！桃太郎 ロシアン・イリュージョン

昨年、驚きのマジックを披露したあの桃太郎が帰ってきた！さらにパワーアップした、びっくり&感動のイ

リュージュンをお楽しみください！また、5/29(日)、6/12(日)のショー後には、桃太郎役のトウイチーによるマジック教室も開催します。※観覧無料、入園料のみでご覧いただけます。

●2011年3月19日(土)～2011年6月19日(日)

■平日公演 オープンステージ 11:30/13:30、

■土日祝公演 園内パレード 11:00/14:00、オープンステージ 11:30/14:30

●休演日；毎週水曜日 ●電話；日本モンキーパーク 0568-61-0870

●会場；日本モンキーパーク(愛知県犬山市)オープンステージ(公演)または園内(パレード)

★シルク・ド・ソレイユ『KOOZA』(クーザ)

●東京最終追加公演 2011年5月21日(土)～2011年7月18日(月・祝)

会場；原宿ビッグトップ(国立代々木競技場オリンピックプラザ)

電話；インフォメーションデスク 0570-04-8880(10:00～18:00)

休演日は週によって異なります。詳しくは専用HPをご確認いただくか、上記電話番号までお問い合わせください。

その他公演情報

★さくっとパントマイムフェスティバル 2011

■総勢36組のマイムアーティスト達が銀座に集合！13日間に渡るシアターパントマイムのアラカルト♪

■2011年6月14日(火)～26日(日) ■2011年3月1日(火)チケット発売開始

■会場；MAKOTOシアター銀座 ■予約；080-3345-4028

★浅草 Performer ショウケース Vol.3 MIKUMO NIGHT

■コメディジャグラーの第一人者三雲いおりの、シャベラー気質満載のパラエティーライブ

■2011年6月16日(木)19:30 ■会場；アミューズミュージアム ■予約；03-5806-1181

★Kaja ソロ第三回公演 3DRadio Sirkus

■Kaja とは。1990 年クラウンカレッジ卒業。クラウニング、マイム、ジャグリングなどを学ぶ。アイルランド、ノルウェー、2つの国でサーカスクラウンとして活動。帰国後はトレードマークの矢印を使い、ジャグリング、マイムマジックを駆使しながらのユニークなパフォーマンスで活動中。■10 年ぶり、3 回目となる今回のソロ公演では、原点に戻り、自分の中のクラウンを見つめ直すために企画しました。少しでもクラウンを感じていただければ幸いです。

■2011 年 6 月 22 日(水)19:30、23 日(木)19:30 ■会場:中野 planB

■予約 mail ; kaja@y7.dion.ne.jp Fax ; 045-434-8615



★ダメじゃん小出ソロライブ 負け犬の遠吠え Vol.24

■揺れる・ブレる・キれる政府の非常識事態、世の中のある事こんな事、一刀冗談ライブ。

■2011 年 6 月 24 日(金)19:30/25 日(土)14:00、18:00 ■会場:銀座みゆき劇場

■電話:オフィスダメじゃん 03-3765-3663

★真夏の夜の宴^{うたげ} 老人とホームレス

■山本光洋『老人と海』、ふくろこうじ『出口あり』を、一日限りで再上演!

■2011 年 8 月 23 日(火) 山本光洋 『老人と海』 19:00 会場/19:30 開演

■2011 年 8 月 24 日(水) ふくろこうじ 『出口あり』 19:00 会場/19:30 開演

■チケット発売日:2011 年 6 月 13 日(月) ■会場:シアターX^{カイ}(両国)

■ご予約:ACC 03-3403-0561

